

“Human Image” The best collection of Takamatsu City Museum of Art

ベスト・コレクション展

人間のイメージ

2003年6月6日(金) - 6月22日(日) 月曜日休館

- 開館時間 火～金曜日(9:30～19:00) / 土・日曜日(9:30～17:00) 入室はいずれも閉館30分前まで
- 入場料 一般 600円(480円) 高大生 400円(320円) 小中生 200円(160円)
- ()内は前売りおよび団体20名様以上の料金 ●土曜日は小・中・高生は入場無料
- 65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料



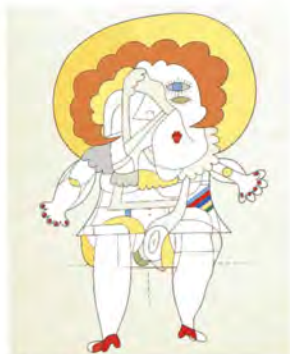
Takamatsu City Museum of Art
高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4
Tel.087-823-1711

主催 / 高松市美術館



池田満寿夫「夏1」(1964)



岡本信治郎
「(Betty Boop's country) ベティ・ブープの国」(1974)



やなぎみわ「次の階を探して I」(1996)
Miwa Yanagi 「Looking for the next story I」(1996)



横尾忠則「電話」(1965)



森村泰昌「肖像 (ヴァン・ゴッホ)」(1985)

ワタシがワタシ(=自己)のことを考える。アナタ(=他者)のことを思う。そしてワタシをめぐる「世界」について思考する。人間が生み出し伝えてきた芸術の中で、最も関心を持たれたテーマは、このワタシから放射状に広がっていく「人間世界」にまつわるものでした。なかでも美術においてポピュラーなモチーフでありつづけているのは、自分たち人間を「かたち」にすることでした。

さて、1945年、終戦を迎えた日本。不条理な戦争を体験し、抑圧を解かれた美術家たちがそこに見た人間とは？ そして1960年代の大量消費や情報化社会が浸透する中、アメリカのポップアートの強い影響を受ける日本のアーティストたちは？ 彼らは、人間を一個の物体や断片として取り扱ったり、あるいは感情という人間的な側面を取り去った記号として表現しました。モノがあふれかえっているのに誰もいないスーパーマーケットのような世界に浮遊しながら、寂しいほどにユーモラスだったりする実体の見えない人間像。こうした人間イメージの美術表現は、現在さらにさまざまな傾向を見せています。写真やCGという素材を使って視点の自在さを提示したり、またアニメやマンガ、美術史の名画を引用するなど表現の可能性が示されています。

今回は、高松市美術館のコレクションの中から、戦後日本の美術を代表する作家をはじめ、最近では海外でもブレイクした森村泰昌、やなぎみわ、奈良美智、村上隆らの作品83点により、ここ半世紀にわたってどのように私たちが人間を「見つめ」、また社会の変遷の中で「生き、感じ」、そして表現として「かたち」を与えているのかをご覧ください。



合田佐和子
「くわえタバコのデトロイト」(1973)



篠原有司男「女の祭り」(1969)



奈良美智「Milky Lake」(2001)
©2003 Yoshitomo Nara.
Photo: Yoshitaka Uchida, Nomadic Studio

“Human Image” The best collection of Takamatsu City Museum of Art

●ギャラリートーク

当館学芸員によるギャラリートーク
6月7日(土)午後2時～ 2階展示室にて
美術館ボランティアeivi(シヴィ)によるギャラリートーク
会期中の日曜日(6月8日、15日、22日)
①午前11時～②午後2時～ 1日2回 2階展示室にて
*いずれも聴講には観覧券が必要です。

●アートで遊ぼう！(鑑賞講座)

6月14日(土)午前9時30分～11時

●第2期常設展のお知らせ

変容する人間像 6月6日(金)～8月3日(日)
磯井如真Ⅱ *特別展のチケットでご覧いただけます。

●次回催し物のお知らせ

ヘンリー・ムーア展 7月25日(金)～8月31日(日)



工藤哲巳「あなたの肖像」(1963)
(撮影 高橋草)



交通のご案内

JR 四国-JR高松駅下車、南へ徒歩15分
琴平電鉄-瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分
バス路線-紺屋町バス停下車、徒歩3分
駐車場-美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)



村上隆「Red Rope」(2001)
©2003 TAKASHI MURAKAMI/Kaikai Kiki, All Right Reserved.
Photo: Yoshitaka Uchida, Nomadic Studio